




■SDGsについて

・施策評価に係るSDGs


SDGs		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		1 貧困をなくそう	2 健全な食生活と食料の安全保障	3 良好な健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギー	8 持続可能な経済成長	9 産業と雇用イノベーション	10 人や国ごとの格差をなくそう	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 つきとこと消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 公正で包摂的な社会	17 パートナーシップで目標を達成しよう
A	歴史の継承と文化財の保存				●							●						
B	市内消費の拡大及び商業の活性化									●		●						●
C	地域で支え合う子ども・子育て支援	●		●	●							●					●	●
D	地域で支え合う仕組みづくり	●		●								●						

SDGs	 1 貧困をなくそう							
	目標	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる						
狛江市の 関連施策	・地域で支え合う子ども・子育て支援 ・地域で支え合う仕組みづくり							
関連する 狛江市の取組	①フードバンクによる子育て家庭への食料支援件数							
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性	※H30 から事業開始
	件	—	133	188	367	356	—	
	②子ども食堂事業実施団体への補助金交付団体数							※H30 から事業開始
	H29	H30	H31	R2	R3	方向性		
件	—	3	4	5	6	—		
③生活課題を抱える市民及びその世帯に対する個別支援の実施件数							※H30 から事業開始	
	H29	H30	H31	R2	R3	方向性		
件	—	239	294	888	964	↗		
④生活保護世帯の保護率（参考）							—	
	H29	H30	H31	R2	R3	方向性		
%	2.301	2.266	2.397	2.394	2.445	—		
総括	<p>子ども食堂団体の活動支援や、フードバンク狛江といった各種団体との連携・協力などにより、地域の中で安心して子育てができる環境の構築を図ることができおり、子ども及び子育て家庭への1つの貧困対策として機能している側面も持っているといえる。その中でも、地域で子育て支援活動を行っている団体同士や関係支援機関とのつながりを築くことで、情報共有や共通認識を持つことを図り、支援につながりやすい環境を地域で構築していく必要がある。子ども食堂の補助金については、より効果的な補助となるよう更なる見直しについても検討をしていく必要がある。</p> <p>生活課題を抱える市民及びその世帯への個別支援に対する市民の方の認知度が高まり、実施件数が増加しており、その支援を通して貧困への一助としている。</p>							


SDGs	 3 すべての人に健康と福祉を							
	目標	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する						
狛江市の関連施策	・地域で支え合う子ども・子育て支援 ・地域で支え合う仕組みづくり							
狛江市の取組	① 5歳未満児死亡率（地方創生SDGsローカル指標）							
			H27	H28	H29	H30	H31	方向性
	件数	狛江市	0.031	0.059	0.057	0	0.057	↘
26市		0.038	0.055	0.045	0.046	0.033		
②人口10万人当たりの自殺者数（地方創生SDGsローカル指標）								
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性	
人	狛江市	9.78	14.55	9.61	21.62	12.05	↘	
	26市	15.25	16.66	14.67	15.89	15.74		
③平均寿命（男女別）（地方創生SDGsローカル指標）								
			H12	H17	H22	H27	方向性	
歳	狛江市	男	79.3	80.3	79.8	81.7	↗	
		女	85.0	86.6	87.4	87.8		
	26市	男	78.6	80.0	80.4	81.5		
		女	84.6	86.0	86.7	87.4		
総括	<p>地域での子どもの見守り活動を行うことで、市内刑法犯認知件数の減少につながっているほか、保護者や地域住民等のボランティア活動により、子育てを地域の中で見守る意識が醸成されたと考えられる。</p> <p>ゲートキーパー研修では、身近な人のこころのちを支える人材の確保に努めており、新型コロナウイルス感染症の拡大により不安を抱える方が増加し、参加者も前年に比較し増加したものと考えられることから、今後より多くの方へアプローチできる方法での実施を行うことが課題である。</p> <p>老人クラブや介護予防サービスを提供する運営団体を支援することにより、高齢者の社会参加と生きがいづくりに寄り添うだけでなく、通所型サービスB事業では、要支援高齢者等の地域の受入体制を強化したものの、新規会員の入会が減少傾向となっているほか、既存会員の高齢化も進んでいるため、運営側の人員体制の確保が課題となっている。</p>							

SDGs	 質の高い教育をみんなに						
	目標	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する					
狛江市の 関連施策	・歴史の継承と文化財の保存 ・地域で支え合う子ども・子育て支援						
狛江市の 取組	①出前講座・体験学習の実施回数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	回	31	22	19	0	24	↗
狛江市の 取組	②古民家園の実施事業件数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	回	63	65	63	22	36	↗
狛江市の 取組	③学習フリースペース延べ参加者数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	人	-	-	-	-	34	↗
※学習フリースペース（居場所事業）は 令和3年度から本格実施							
総括	<p>狛江の歴史や文化財等に触れる機会としての体験型学習として、平成25年度から実施している出前講座は、小学6年生のカリキュラムとして定着し、狛江への関心と愛着を育む素地の一つとなっている。また、古民家園における伝統文化等の教室についても、普段触れることのできない能楽や生け花に実際に触れ合うことで、身近に感じ、日本の文化への理解を深める貴重な機会となっている。</p> <p>学習フリースペースについては、「子どもたちが学習（自習）できる場所が少ない」という地域課題の解決に向け、市内の学習支援団体の協力を得ながら、実施しており、今後は事業が広く周知され、子どもたちの学習につながる居場所の一つとして定着するように協力団体と協議しながら事業を推進していく。</p>						


SDGs 評価シート


SDGs	 産業と技術革新の基礎をつくらう						
	目標	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。					
狛江市の 関連施策	・市内消費の拡大及び商業の活性化						
狛江市の 取組	①研究開発資金の融資あつ旋件数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	件数	0	0	0	2	0	↗
狛江市の 取組	②地域経済持続支援金の交付決定件数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	件数	－	－	－	20	608	－
狛江市の 取組	③創業スクール修了者数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	人	10	11	10	12	13	↗
総括	<p>市内に大きな産業立地がない中で、市民の暮らしとともにある商業やサービス業は、狛江市の基幹的な産業であり、市民の暮らしの豊かさの向上及び地域の持続的発展を担う重要な産業分野である。</p> <p>各種補助金を中心に、市内事業所や商店会等の事業費及び企業資金の負担軽減を図るとともに、新型コロナウイルス感染症によって売上が減少した市内事業者への経済的支援を実施した。</p> <p>各種イベントの活用、助成金による支援を通じ、商店・商店会に活気を呼び起こすとともに、消費者に対して買い物支援を促進するよう努めているものの、前期基本計画に掲げる指標である「日頃の飲食や買い物が便利だと感じている市民の割合」が令和2年度と比較して低下していることから、より充実した支援及び事業を実施する必要がある。</p> <p>創業スクールでは、修了後も関係機関と連携しながら受講者へのきめ細かなサポートを行うとともに、コンパクトな街により市内の受講者同士が密接に連携しやすいため、創業者同士のコミュニティネットワークの構築につなげることができた。</p> <p>コンパクトなまちだからこそ、市内での買い物をより充実させるよう努めるため、プレミアム付商品券事業を実施することにより、市内事業者のみならず、消費者へ直接市内消費喚起の支援をすることができた。</p>						

SDGs評価シート

SDGs	 住み続けられるまちづくりを						
	目標	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する					
狛江市の 関連施策	・歴史の継承と文化財の保存 ・地域で支え合う子ども・子育て支援 ・市内消費の拡大及び商業の活性化 ・地域で支え合う仕組みづくり						
狛江市の 取組	①文化財保存事業費補助金の交付（地方創生SDGsローカル指標）						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	金額	350	300	300	300	290	→
	②都市公園・児童遊園等におけるアドプト団体数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	団体数	15	14	13	13	16	↗
	③日頃の飲食や買い物が便利だと感じている市民の割合						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	割合(%)	—	—	—	63.4	70.5	↗
	④福祉カレッジ参加人数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	人	—	19	15	16	13	↗

総括	<p>文化財の継承については、市が所有する古墳や史跡、古民家園だけでなく、狛江の歴史や地域性を伝える万葉歌碑についても、維持管理を担い、適切に次世代へ継承していくための措置を講じている。また、地域に伝わる祭囃子についても、団体の活動を支援することで、保存・継承の一助となっている。狛江市に多く残る古墳を良好な状態で次の世代へ伝えていけるよう、適切な保護保存の措置を講じるとともに、狛江の歴史や文化を身近に感じられるよう、古墳公園として整備を進めている。</p> <p>都市公園・児童遊園は、保守点検結果に基づき、危険度の高い遊具の撤去及び入替を行ったほか、ベンチの座面を交換する等、適切な維持管理を行い、子どもが安心して公園で遊べるように努めたほか、前年度を上回る 16 のアドプト団体が清掃及び美化活動を行い、地域によるきめ細やかな維持管理を行うことができ、子どもが安心して遊べる居場所づくりの一助としている。都市公園・児童遊園については、開園から長期間経過した公園が多く、老木や設備の安全対策上の課題が顕在化しており、令和 4 年度に策定する公園施設長寿命化計画の着実な実行や、高木を含む樹木の適正管理が必要となっている。アドプト制度や住民参加による管理協定制度を活用し、公園における美化活動や維持管理を市民参加・市民協働のもと行っているほか、学校安全ボランティアについても、活動は全てボランティアであり、市民参加による児童の見守り活動を行っている。</p> <p>また、各種イベントの活用、助成金による支援を通じ、商店・商店会に活気を呼び起こすとともに、消費者に対して買い物支援を促進するよう努めているものの、より充実した支援及び事業を実施する必要がある。また、商店会においては補助金制度を活用している商店会が固定化しているため、補助金制度の案内を強化する等の対策が必要である。</p> <p>老人クラブ助成事業者や生活支援コーディネーター事業では、通いの場、社会奉仕の場として緑道を歩く会、ボランティアサークル、清掃活動、健康づくり事業等の集まりやネットワークが構築できる場面を創出し、一人ひとりの個性や能力に応じた活動の場の提供や情報交換できる場を提供した。</p> <p>コロナ禍においても、孤立することなく、市民同士のつながりが活発となるような事業を展開し、介護予防、運動機能低下防止、子育てに関する悩みの相談、自殺防止等に繋がる取組を推進していく。</p>
----	--

SDGs	 平和と公正をすべての人に						
	目標	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、 すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する					
狛江市の 関連施策	・地域で支え合う子ども・子育て支援						
狛江市の 取組	①子育てポータルサイトアクセス件数						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	件数	155,518	175,954	182,747	276,869	168,959	↗
②人口1人当たりの刑法犯認知件数(地方創生SDGsローカル指標)							
	H29	H30	H31	R2	R3	方向性	
件数	5.96	4.55	4.34	3.72	3.35	↘	
③学校安全ボランティア登録者数							
	H29	H30	H31	R2	R3	方向性	
人	183	184	203	209	202	↗	
総括	<p>青色防犯パトロール、安心安全パトロールにより、地域での子どもの見守り活動を行うことで、市内刑法犯認知件数の減少につながっているほか、保護者や地域住民等のボランティア活動により、子育てを地域の中で見守る意識が醸成されたと考えられます。保護者の意見・要望を反映しながら、関係機関と共に通学路の安全点検及び対策の実施、また避難行動要支援者についても、「民生委員児童委員協議会」や「町会」が支援組織となり、可能な範囲内で平常時の見守りを行うことで、子育て家庭が孤立することなく、地域の中で安心して子育てができる環境の構築に寄与している。</p> <p>子育てに関する情報等については、子育てサイトでの市民目線での情報発信や保育サービスコーディネーターの相談のオンライン化を進めるなど、子育て家庭の不安・負担感の軽減を図った。また、子ども食堂団体の活動支援など各種団体との連携・協力などにより、地域の中で安心して子育てができる環境の構築を図ることができている。</p> <p>子育てに関するオンライン相談については、試行実施結果をもとに本格実施に向けた検討を行っていく必要がある。地域で子育て支援活動を行っている団体同士や関係支援機関とのつながりを築くことで、情報共有や共通認識を持つことを図り、支援につながりやすい環境を地域で構築していく必要がある。</p>						

SDGs	 17 パートナーシップで目標を達成しよう						
	目標	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する					
粕江市の 関連施策	・地域で支え合う子ども・子育て支援 ・地域で支え合う仕組みづくり						
粕江市の 取組	①ファミリーサポートセンター事業（利用会員数とサポート会員数の合計）						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	人	1,356	1,346	1,312	1,264	1,235	—
粕江市の 取組	②ゲートキーパー研修（参加者数）						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	人	34	36	19	15	31	↗
粕江市の 取組	③発達サポーター育成講座						
		H29	H30	H31	R2	R3	方向性
	人	—	—	—	24	30	↗
総括	<p>核家族化や共働き家庭の増加等、家族形態が多様化している中で、住み慣れた地域で、共に支え合いながら、生き生きと日常生活を過ごすため、安心して子供を産み、育てられ、地域全体で健康づくりや福祉の課題に取り組んでいくことが大切である。</p> <p>子どもの育ちや発達、虐待、いじめ、不登校、経済的な問題等、様々な不安・悩みを抱える子どもや家族・保護者が地域からの見守りや支えを得て、孤立せず、安心して生活していけるよう、各支援機関等と連携して子ども・子育て支援の充実を図り、地域住民やNPO等と連携し、子どもが安心して生活できる環境や地域での居場所づくりを支援する等、地域における子育て家庭への支援が必要である。また、地域福祉の推進のため、包括的な支援体制の構築を進めるとともに、相互に支え合うことを通じて、多様性を認め合い、子どもから高齢者まで、障がいの有無によらず誰もが安心して生きがいをもってともに暮らせる地域共生社会の構築を進めていく必要がある。</p> <p>行政から市民といった一方的な支援や援助だけでなく、市民同士や団体同士の連携や支援が重要であり、そういった活動を推進していく必要がある。青色防犯パトロール、安心安全パトロール、学校安全ボランティア及び通学路安全対策推進会議では、多様な立場の方がパートナーとして地域全体を見守り、より安心して暮らせるまちづくりのために連携を図っている。</p>						